各 位

会社名アスクル株式会社 代表者名 代表取締役社長 岩田彰一郎 (コード番号:2678 東証一部)

問合せ先 役職・氏名

財務・広報室本部 執行役員 本部長 玉井 継尋 TEL 03-4330-5130

「2014年5月期 第3四半期連結業績概要」のお知らせ

「平成 26 年 5 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」に関する補足説明の資料として、 添付の「2014年5月期 第3四半期連結業績概要」をお知らせいたします。

なお、本資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。これら将来の 計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予想したものであります。 実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、本資料 はその実現を確約、保証するものではございません。

また、本資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

以上



東西基幹物流センターの生産性は目標未達も従来センターを上回る

3QのLOHACO売上高は前四半期比146%

トップラインのアクセルを踏みつつ物流生産性のさらなる改善に邁進

2014年3月18日 アスクル株式会社

(ご注意)

本資料には、当社グループの現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。 これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

本資料における「LOHACO」とは、ヤフ一株式会社との提携により2012年10月にスタートした一般消費者向けのオンライン通信販売事業のサービス名称です。

また、「BtoB」とは、企業(Business)と企業(Business)との間で行われる取引、「BtoC」とは、企業(Business)と一般消費者(Consumer)との間で行われる取引を指します。

本資料全部またはその一部(商標・画像等を含む)について、加工の有無を問わず当社 の許可なく複製および転載することを禁じます。

I 通期連結業績予想の修正

II ECへの変革 3つのポイント

Ⅲ BtoB事業トピックス

通期連結業績予想の修正

(単位:億円)	14/5期 通期業績					従来予想比較	
	従来予想				修正予想	増減額	増減比率
	LOHACO	BtoB 事業等	物流基盤 増強等	計	計	計	計
売上高	100	2,400	_	2,500	2,500	_	_
営業利益	△ 23	104	Δ 21	60	40	Δ 20	△ 33.3

カタログからECへの変革期において 東西基幹センターの目指す生産性に 到達していないことが主要因

課題と対策は明確、改善に邁進

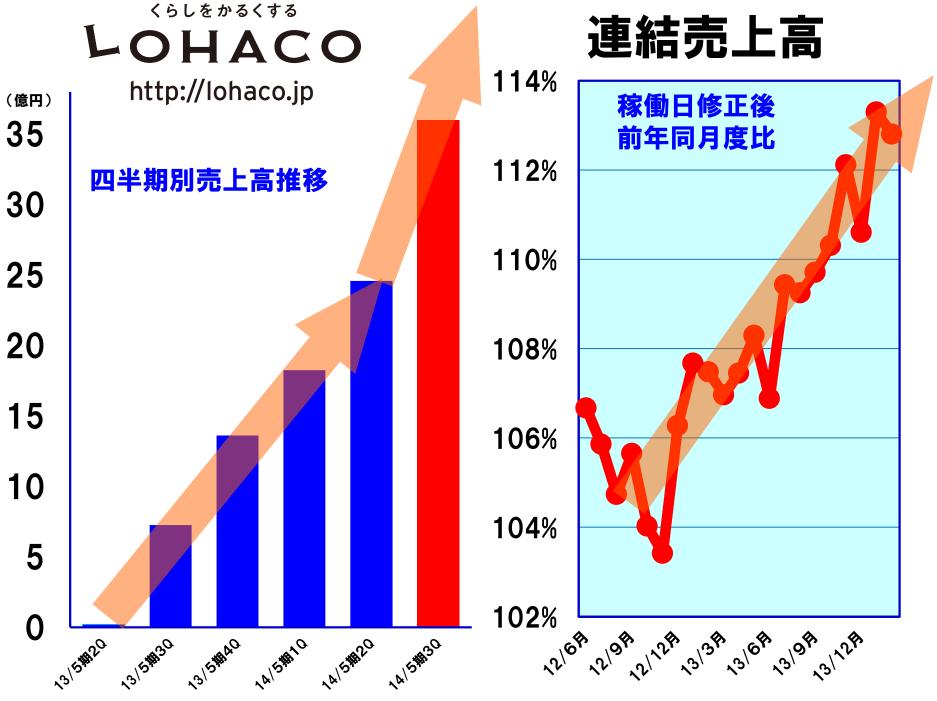
I 通期連結業績予想の修正

II ECへの変革 3つのポイント

Ⅲ BtoB事業トピックス

① コモディティで勝てる 物流ECRプロセス



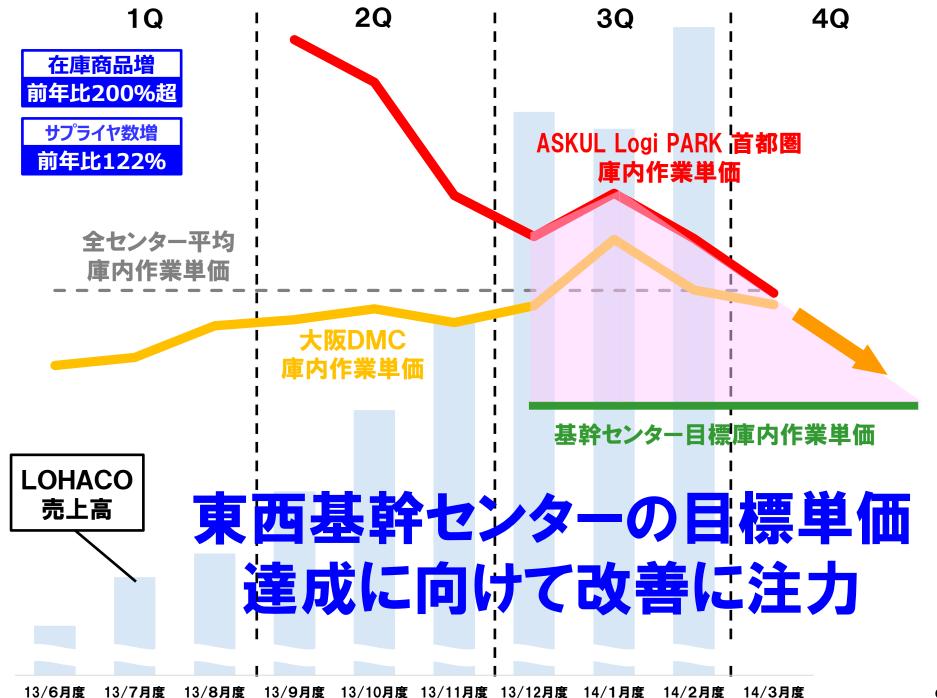


在庫商材を3万⇒7万SKU拡大

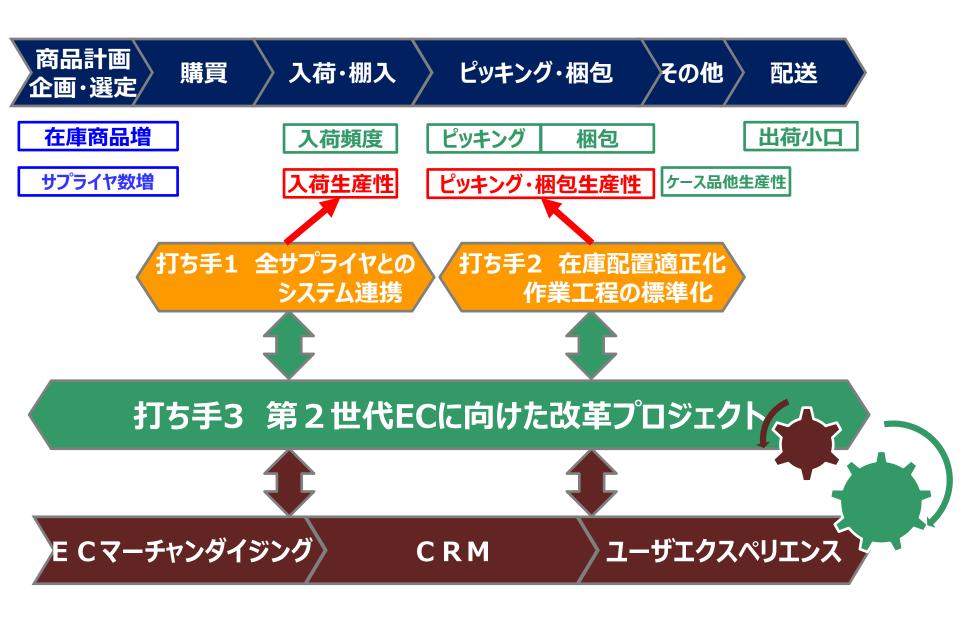
連結売上高_{*}5ヶ月連続2桁成長 (3QのLOHACOは2Q対比146%売上成長)

将来の収益極大化とお客様へのサービスレベルを守ることを優先

物流生産性の改善を柱とした ECオペレーションの変革を急ぐ



課題改善に向けた取り組み施策について



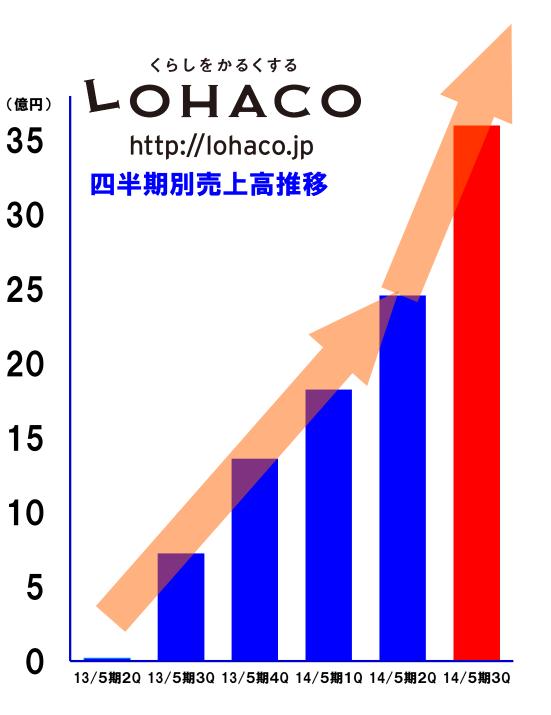


物流システムの高度化と オペレーションの変革を スピードを上げて実行していく

② 新たなお客様 「ロハコさん」の創出

ASKUL X YAHOO! JAPAN

LOHACO.jp



3Q売上高 35.9億円

前四半期比 146%

通期計画 100億円 達成は視野

Eコマースは第2世代へ

第1世代



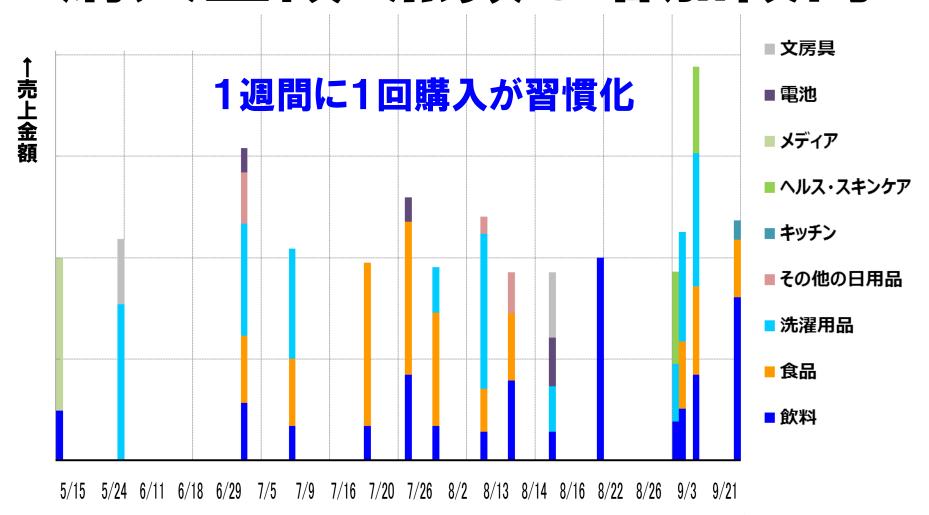
趣味・嗜好品を探して単品買い

第2世代



家庭の中に入り込み 日常使いへ

リピーターのお客様は 購入金額・点数も増加傾向





ロハコさんとは?

リピーターのうち 一定基準を満たした お得意様

ロイヤル カスタマー

2014年2月20日現在約5.6万人

お客様数の約5%でありながら売上金額の30%超を占める

ロハコさんを100万人へ



③ メーカーと一体となった マーケティングプラットフォーム

2013年10月11日

Webマーケティング コンソーシアム2013開催 サプライヤ約120社、約230名参加

2014年1月28日

Webマーケティング コンソーシアム開催(事例発表会)サプライヤ約60社、約120名参加

Webマーケティングコンソーシアムの趣旨

~ 私たちがめざすもの ~

趣旨①

ECの健全な発展により、生活者、メーカーとのWin-Win-Winを目指します。

趣旨②

ビックデータのオープン化により、効果的な ECマーケティング活動を実践します。

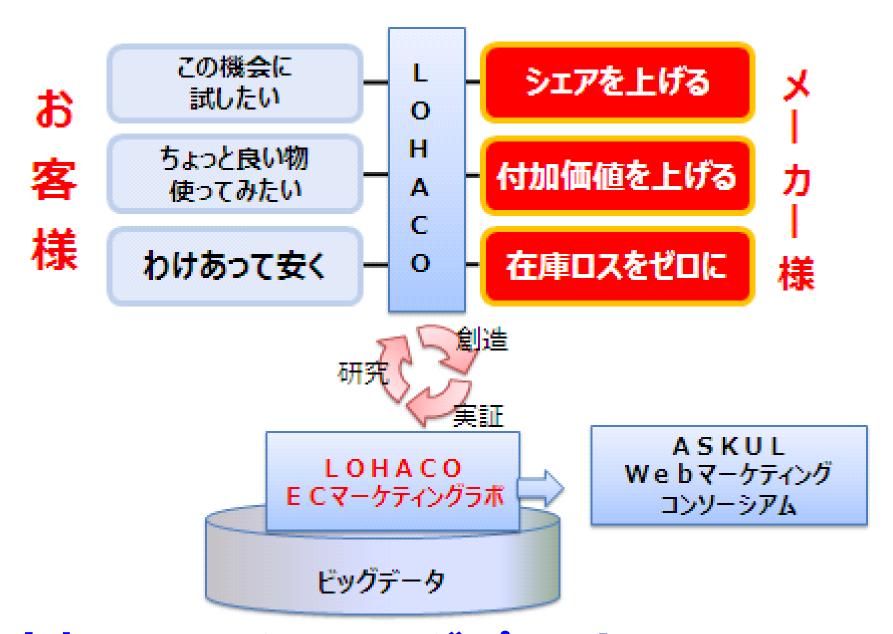
趣旨③

ECで働く女性(ロハコさん)の日常をサポートし、 ダイバシティ推進と親世代を支援します。



LOHACO ECマーケティング ラボの目的

社会最適のECビジネスを 創造し社会利益を実現する



究極のマーケティングプラットフォームへ

第一期 参加企業12社 26名研究員参加アスクル LOHACO社員研究員 20名 Yahoo! JAPAN 2名 東京大学 2名

味の素株式会社、味の素ゼネラルフーヅ株式会社 花王カスタマーマーケティング株式会社、カルビー株式会社、 コカ・コーラカスタマーマーケティング株式会社、 住友スリーエム株式会社、大王製紙株式会社、 日清食品株式会社、ネスレ日本株式会社、 プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、 ユニリーバ・ジャパン株式会社 ライオン株式会社

(敬称略·五十音順)

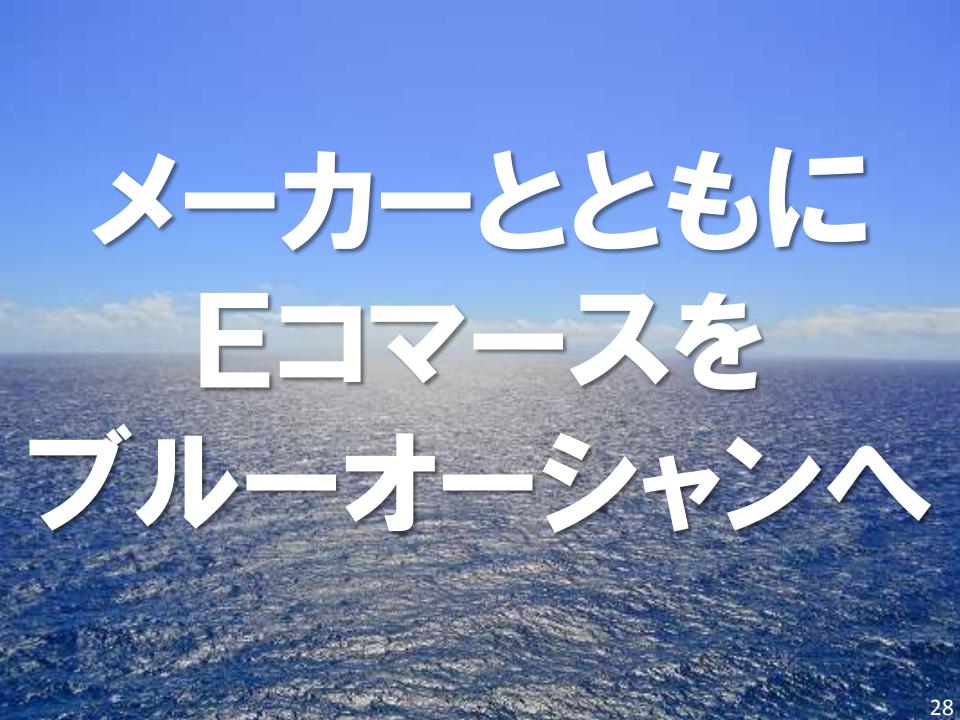
次期参加希望のメーカーも増大中



2014年3月15日、LOHACOジェット就航



認知度向上により集客を拡大



I 通期連結業績予想の修正

II ECへの変革 3つのポイント

Ⅲ BtoB事業トピックス





BtoB 事業所向け









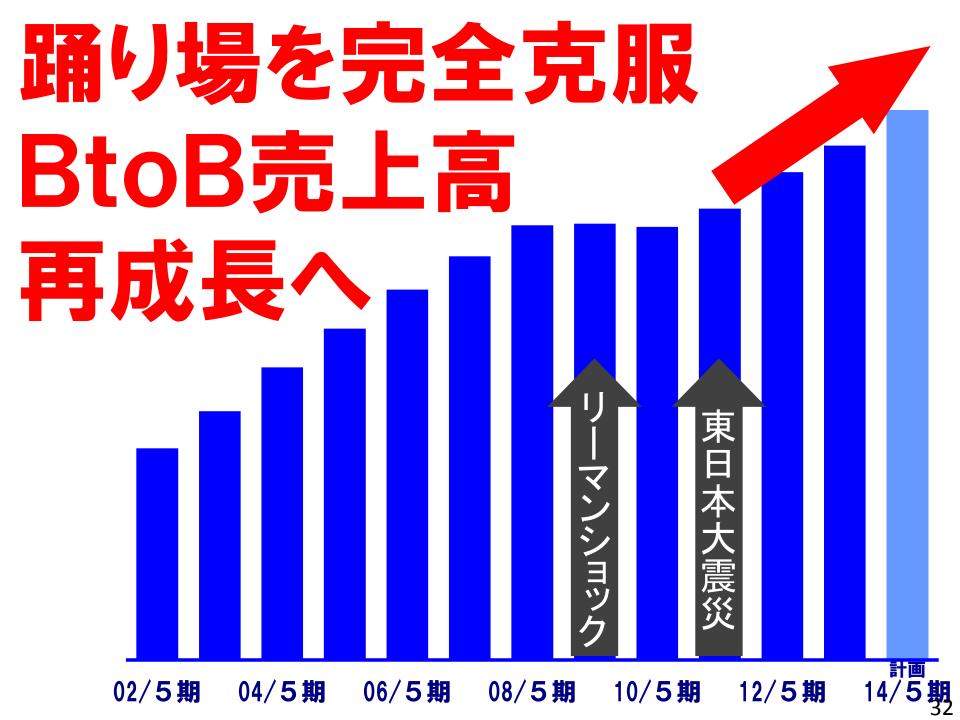


すべての仕事場で No.1を目指します

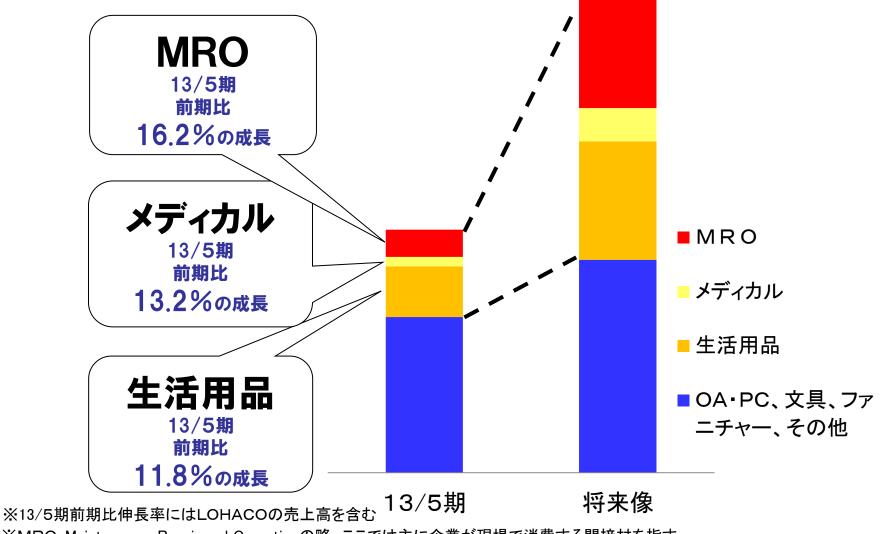








新カテゴリによる再成長イメージ



※MRO: Maintenance, Repair and Operationの略。ここでは主に企業が現場で消費する間接材を指す。

BtoB事業の2桁成長回帰をめざす。

BtoB 成長戰略

カテゴリー

MRO

メディカル

製造・建設医療・介護

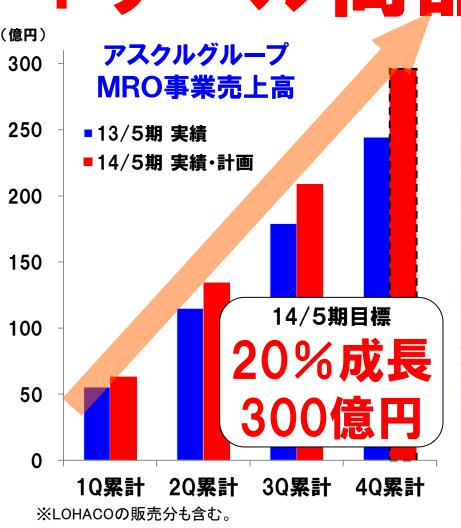
(店舗・物流)



エージェント約1,400社 による開拓



ヘッド商品強化 トテール商品拡充=成長









「アスクル 春・夏カタログ」 2014年2月発刊

競争力と収益力 両方の強化を実現

100SKU投入 2012年8月







2013年8月 300SKU投入

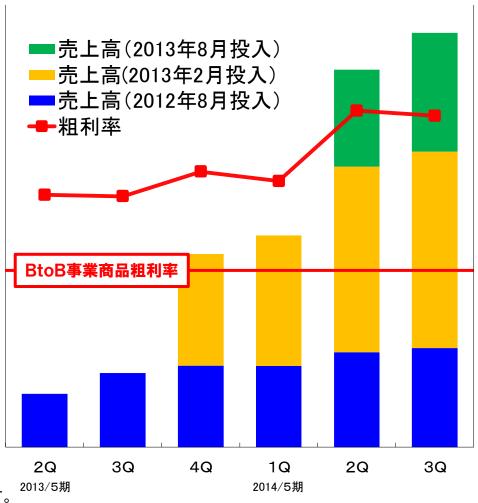






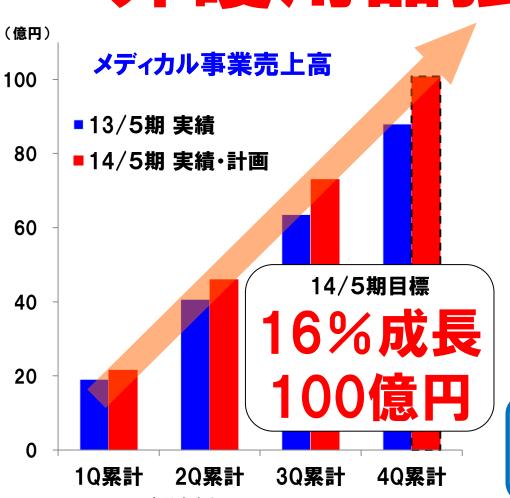
170SKU投入 2014年2月







エージェント拡大 十介護用品強化=成長



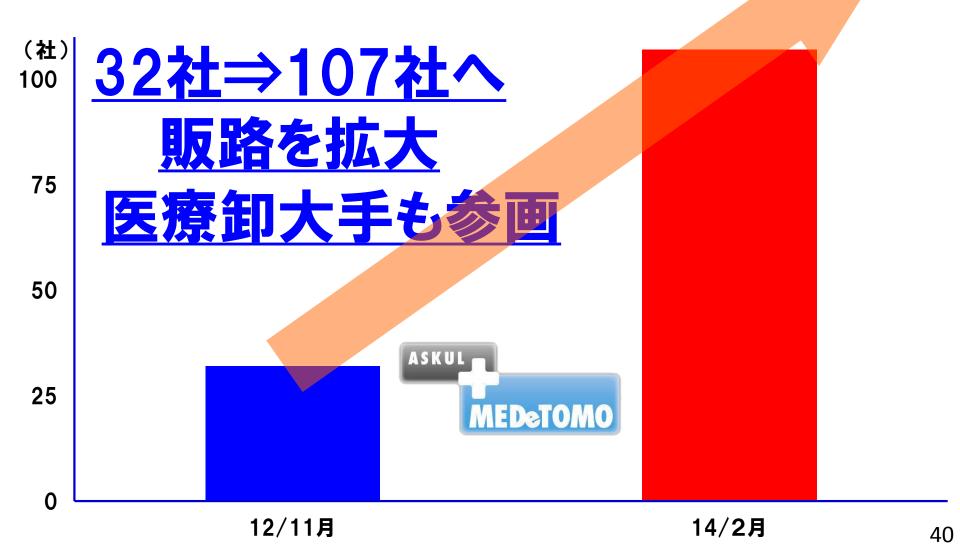


医療通販No.1売上高

(13/5期 実績)

※当社調べ

エージェント数3倍増



「メディカル&ケア カタログ 春の特別号」を発刊



介護の現場を応援!



「アスクル メディカル&ケア 2014 春の特別号」 2014年2月発刊

デイケア・デイサー ビスなど介護施設 向け商品を拡充

季節の需要品を中 心に期間限定値下 げを実施

介護業界集中 開拓のツール として活用

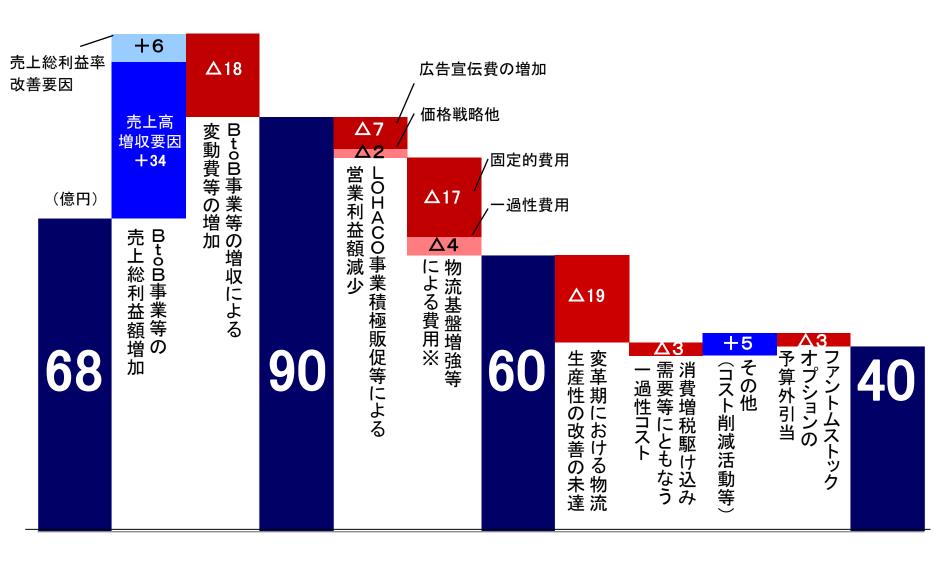
新たな市場を開拓し BtoBはより盤石へ

付 録

《付録》通期連結業績予想の修正

(34 th the en)		14/	従来予想比較				
(単位:億円)		従来	予想		修正予想	増減額	増減比率
	LOHACO BtoB 物流基盤 計事業等 増強等				計	計	計
売上高	100	2,400	_	2,500	2,500	_	_
営業利益	△ 23	104	Δ 21	60	40	Δ 20	△ 33.3
					3Q累計		4Q
変革期における物流生産性の改善の未達					15		
消費増税駆け込み需要等にともなう一過性コスト					0		
その他(コスト削減活動等)					△5		
ファントムストックオプションの予算外引当					3		_
合 計					13		

《付録》14/5期連結営業利益(計画)の増減要因



13/5期営業利益 (実績) 68億円 14/5期営業利益 (期初計画) 60億円

14/5期営業利益 (修正計画) 40億円

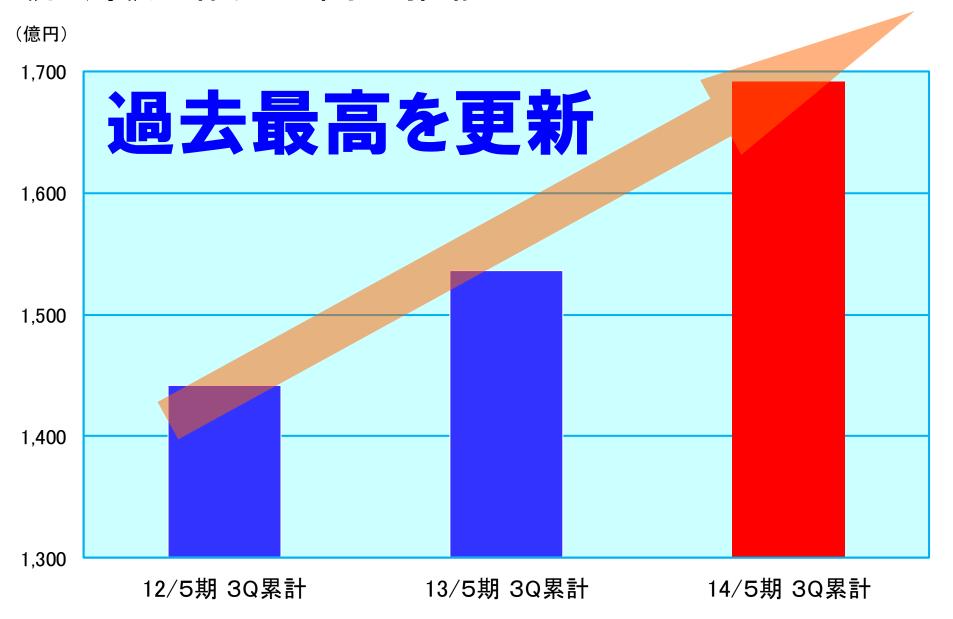
《付録》第3四半期連結累計業績の概要(9ヶ月)

13/5期				14/5期								
		金	額	売上 比率 %	金	額	売上 比率	前年 同期比	同	打年 期差		
查	上高	百万			百万		100.0	% L10		万円 16.700		
兀.	上向	1 (55,614	100.0	10	32,404	100.0	十10.	<u> </u>	16,790		
売上	.総利益		売上総利益 (36,894	22.3	4	10,463	22.2	十9.	7 -	+3,568
	費および 管理費	(32,021	19.3	3	37,959	20.8	+ 18.	5 -	+5,937		
営業	美利益		4,872	2.9		2,503	1.4	△48.	6	△2,368		
経常	経常利益		5,063	3.1		2,555	1.4	△49.	5	△2,507		
当期	純利益		4,374	2.6		1,081	0.6	△75.	3	△3,292		
	LOHACO Bto		BtoB:	事業等	等物流基盤増強等※1			合	計			
	'로 #a	00	20 X #U		固定的	固定的費用 一過性費用※		費用※2	2番 田	00		
(億円)	通期 計画	3Q 累計	通期 計画	3Q 累計	通期 計画	3Q 累計	通期 計画	3Q 累計	通期 計画	3Q 累計		
売上高	100	78	2,400	1,745	_		_	_	2,500	1,824		
営業 利益	△ 27	△ 20	88	61	Δ 17	Δ 11	△ 4	Δ4	40	25		

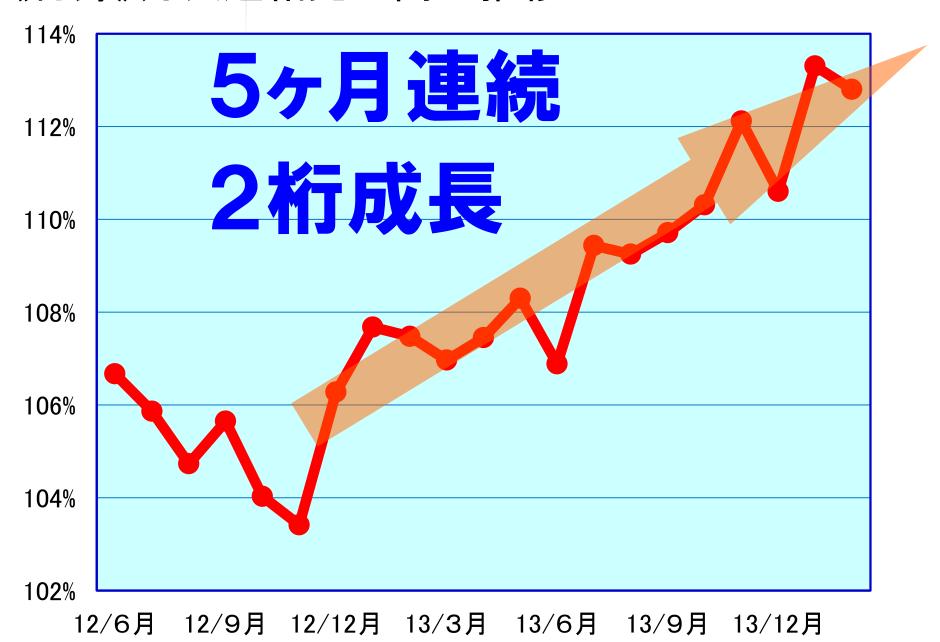
^{※1} 当社管理会計において、物流基盤増強等に掛かる費用は、売上高基準等により最終的に各事業に配賦されます。

^{※2} 物流基盤増強等の一過性費用は第1四半期にて計上が完了しています。

《付録》連結売上高の推移



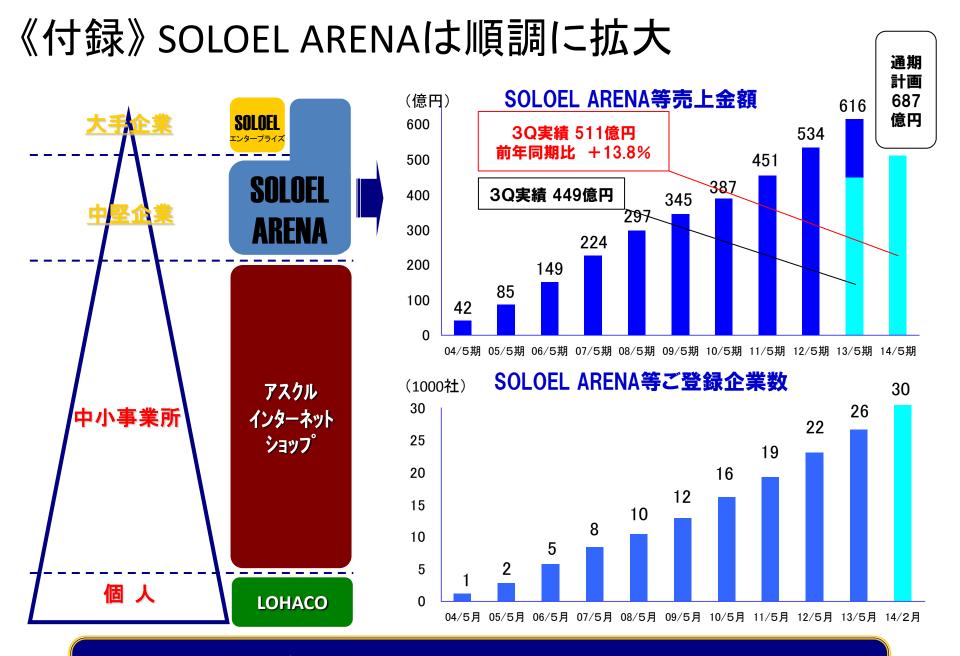
《付録》月次連結売上高の推移(稼働日修正後 前年同月度対比)



《付録》品目別売上高 単体

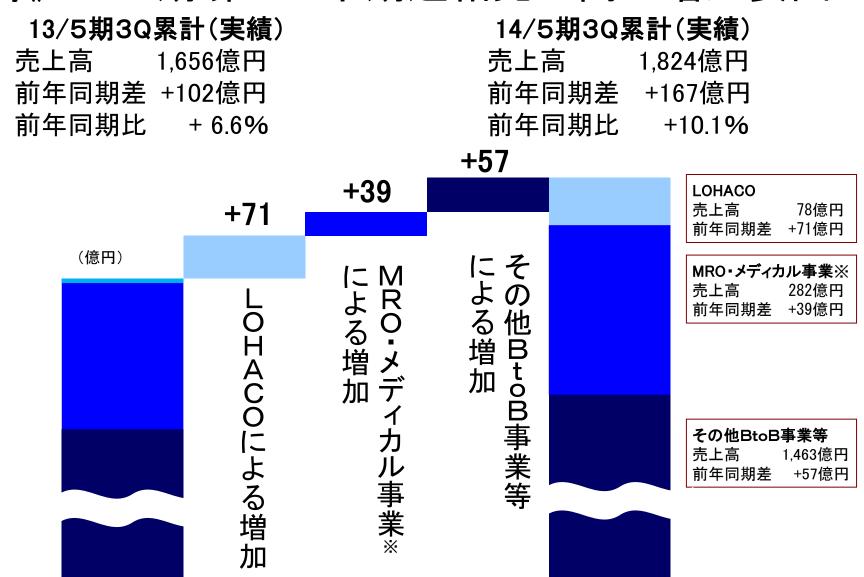
	13/5期第3四半期累計		14/5期第3四半期累計		
	金額 前年同期比		金額	前年同期比	
	百万円	%	百万円	%	
OA-PC	60,282	+2.5	63,497	+5.3	
文具	35,863	+7.4	38,650	+7.8	
生活用品	33,911	+11.2	41,206	+21.5	
ファニチャー	12,450	+5.8	13,043	+4.8	
その他 (メディカル等)	11,112	+14.2	12,835	+15.5	
合 計	153,621	+6.5	169,233	+10.2	

注力分野のMRO、メディカルが含まれる「その他」と LOHACOの主力商材である「生活用品」が成長を牽引



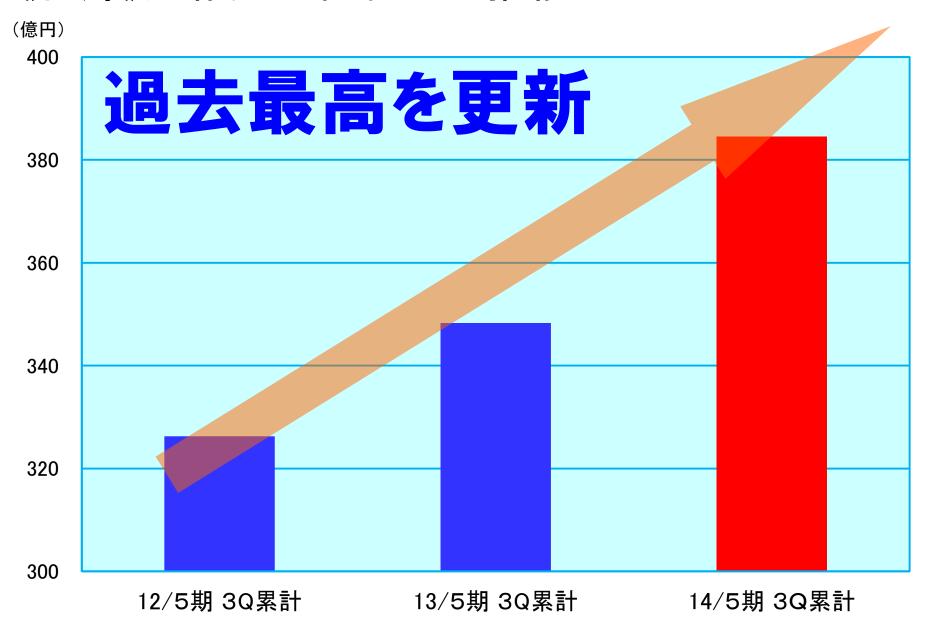
13.8%の増収、通期計画+11.6%を上回る

《付録》14/5期第3四半期連結売上高の増加要因



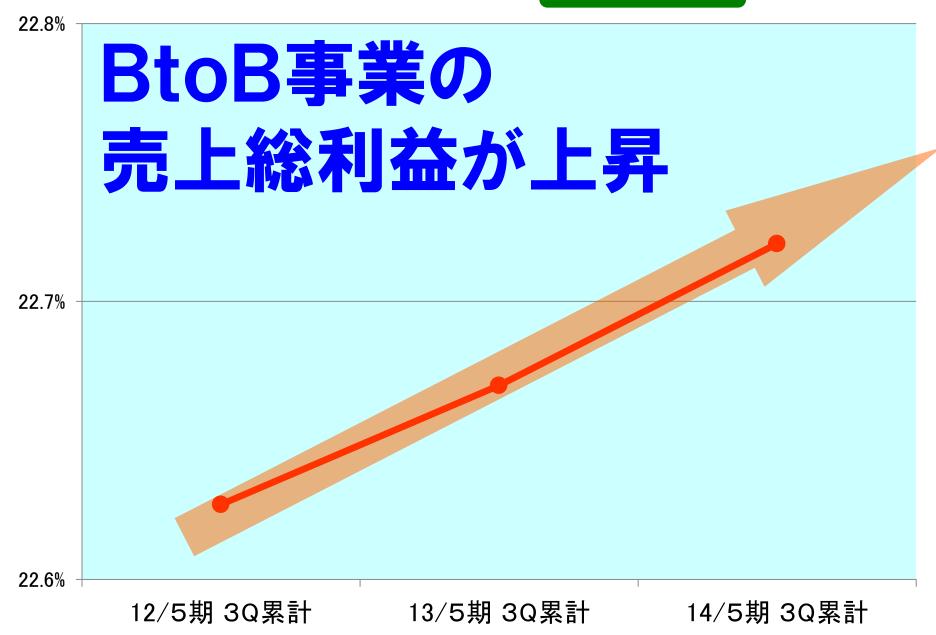
※MRO・メディカル事業はLOHACO分を除いております。

《付録》連結売上総利益の推移



《付録》売上総利益率の推移

単体BtoB事業



《付録》連結売上総利益・販管費について

売上総利益額 404億円

前年同期差 +35億円 売上総利益率 22.2% 前年同期差 △0.1ポイント ▶ LOHACOで価格戦略を実施しつつ、前年同期比並みを確保

販管費 379億円 前年同期差 +59億円 売上高販管費比率 20.8% 前年同期差 +1.5ポイント

- <販管費の前年同期差の主な内訳>
- ・物流センター人員増加等にともなう人件費 +18億円
- ・売上高の増加および物流センター立上げにともなう +17億円 初期運用費用等の配送運賃
- •物流基盤增強(固定的•一過性費用) +15億円
- 広告宣伝費 販売促進費 + 5億円

《付録》設備投資について

設備投資 236億円

(年間計画 224億円)

ASKUL Logi PARK 首都圏物流基盤増強 181億円

ASKUL Logi PARK 福岡 土地取得 25億円

大阪DMC 物流基盤増強 14億円

LOHACOサイト開発 3億円

(参考)減価・ソフトウエア償却費 28億円(年間計画 38億円)

《付録》新カタログ発刊



総ページ数	1,282 ページ
取扱商品数	約 32,500 アイテム
新規取扱商品数	約 2,550 アイテム
オリジナル商品数	約 5,700 アイテム
グリーン商品数	約 11,600 アイテム

<参考> 2013秋·冬号の概要

総ページ数:1,274ページ

取扱商品数:約31,300アイテム

「アスクルカタログ2014春・夏号」 2014年2月発刊

《付録》新カタログ発刊~独自性~



《付録》新カタログ発刊~品揃え~



《付録》新カタログ発刊~競争カ~



《付録》

① インターネット売上高比率

				14/5期 第3四半期累計 (3ヶ月累計)	前期差	13/5期 第3四半期累計 (3ヶ月累計)
イン	ターネ	ヘット糸	径由	74.5%	+3.6%ポイント	70.9%
上	記	以	外	25.5%	△3.6%ポイント	29.1%

(注1) 売上高比率は、受注ベースで記載しております。

② オリジナル商品

(単位:アイテム)

	14/5期 2月度	前期差	13/5期2月度
オリジナル商品数	5,113	+996	4,117
売上高構成比	16.3%	+1.1%ポイント	15.2%

- (注1) 各期2月度の単月実績を記載しております。
- (注2) 売上高構成比率算出に用いるオリジナル商品売上高(分子)には、オリジナル・コピーペーパーは 含まれておりません。
- (注3) オリジナル商品数は、メディカル&ケアカタログ、メディカルプロカタログを含みません。

《付録》

③ 設備投資

(単位:百万円)

科目名	14/5期 第3四半期累計	13/5期 第3四半期累計
	金 額 前期比	金 額
【設備投資額】	23,687 +761.2%	2,750
有 形 固 定 資 産	22,205 +1,516.3%	1,373
無形固定資産	1,482 +7.7%	1,376

建設仮勘定(注2)	35	△96.3%	953
ソフトウエア仮勘定(注2)	184	+60.8%	114

- (注1) 設備投資額は発生ベース額にて記載しております、減少分は反映しておりません。
- (注2) 建設仮勘定およびソフトウェア仮勘定は一部消費税等を含んでおります。